

➤ 会長挨拶

沖縄斜面調査研究会は、平成 29 年 7 月に設立し、テーマに沿った研究活動や斜面に関する技術講習会の開催、各研究部会への論文の投稿、現場見学会などを行って参りました。

令和元年度から令和 2 年度にかけ、本研究会においても新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が発令されたことにより、会議の開催や県外移動に制限があり、予定していた技術講習会の延期や各研究グループの活動が円滑に行うことができませんでした。それらを踏まえ、令和 2 年度からは新しい研究活動の一環として、WEB 会議や WEB 講習会の開催を検討しています。

近年、毎年のように発生する豪雨災害(斜面災害を含む)では、これまで経験をしたことがない豪雨を各地にもたらし、災害件数や規模も年々増加する傾向になっています。そのため、被災地では災害復旧のための技術者が多数必要とされていますが、まだ不足しているのが現状です。また、防災分野の人材育成には時間が必要なことから、人材が年々減少傾向を辿っています。本研究会では若手技術者の育成を行うための技術講習会や現場視察会を計画的に行っています。併せて、斜面防災施設の維持管理等に関する研究を行っています。将来的には、本県特有である島尻層群泥岩の工学的特性を明確にし、斜面災害防除対策の一助となる成果として取り纏めていく所存であります。



我那覇 忠男
(がなは ただお)

➤ 目的

沖縄斜面調査研究会は、斜面災害防止施設の健全度や斜面の安定に関する事項について研究し、もって学術・技術の振興とより安全な地域環境の実現に寄与することを目的とする。

➤ 活動

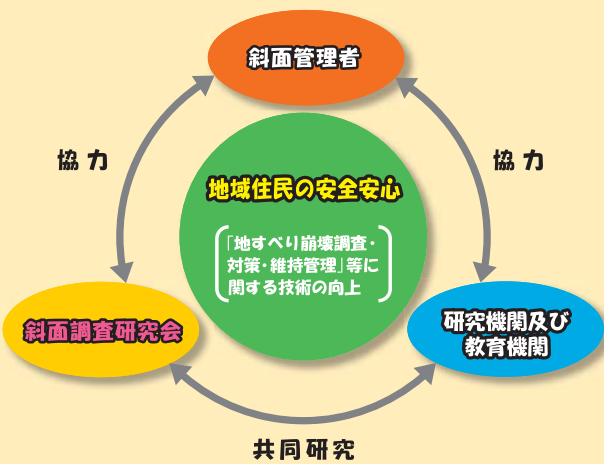
本会は、前条の目的を達成するために、以下の活動を行う。

- ・ 斜面災害防止施設の健全度や斜面の安定に関する調査、情報収集および研究
- ・ 上記を通じて、会員各社への技術向上を目的とした啓発活動
- ・ その他本会の目的を達成するために必要な活動

➤ 研究グループ

- 斜面災害防止施設の老朽化、健全度評価および長寿命化
- 島尻層群地盤におけるグラウンドアンカー工の周面摩擦抵抗値に関する調査・研究

関係機関と連携した斜面防災による安全・安心の確保



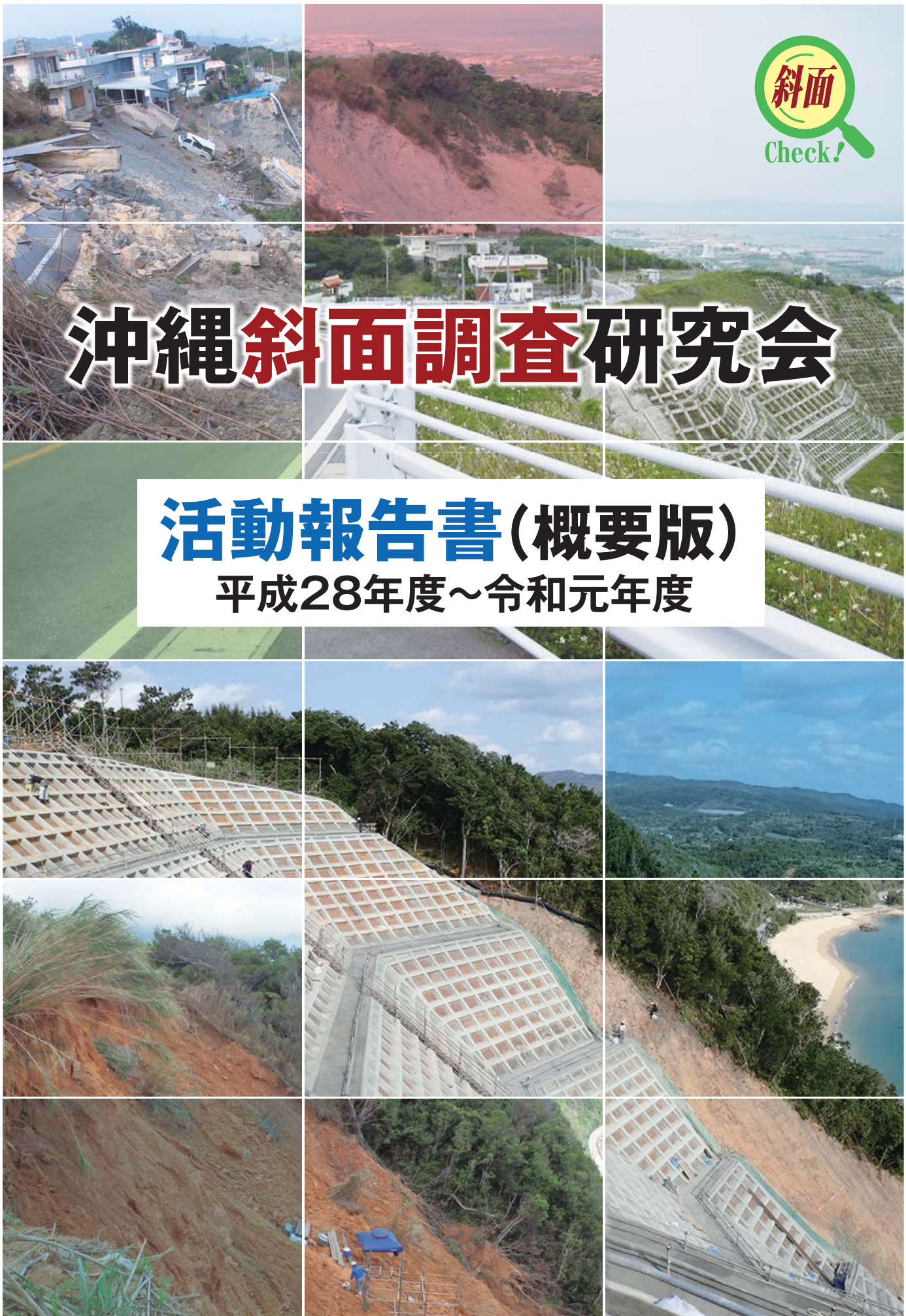
組織体系

(顧問) 宜保清一 琉球大学名誉教授
中野拓治 琉球大学教授
中村真也 琉球大学教授

〈参加会社〉

(株)アジア技研	(株)興洋エンジニアリング
(株)岩下建技コンサルタント	(株)芝岩エンジニアリング
(株)ウイング総合設計	(株)大東エンジニアリング
(株)沖縄建設技研	(株)南城技術開発
(株)沖縄設計センター	(株)日興建設コンサルタント
(株)沖縄土木設計コンサルタント	(株)ホープ設計
(株)国建	

問い合わせ先 沖縄斜面調査研究会 事務局 (井上英将)
Eメール: oki-syamen@nanjyou.co.jp
電話番号: 098-888-1551(株式会社 南城技術開発)



活動履歴

平成28年度	平成28年10月7日	第1回会議	沖縄斜面調査研究会を発足 役員選出
	平成28年11月29日 ～平成29年4月24日	第2、3、4回会議	会則,H29 事業計画,H29 予算等
	平成29年7月3日	発足祝賀会	
平成29年度	平成29年8月28日	平成29年度総会	H29 事業計画,H29 予算
	9月26日	第2回会議	研究WG 編成
	11月10日	講習会	「アンカー工の維持管理について」
	11月21日	現地視察会	中城村～東村
	平成29年12月2日 ～平成30年7月9日	第3、4、5、6回会議	
	平成30年4月25日	講習会	「斜面对策工維持管理実施要領の解説」 ※(一社)沖縄県測量建設コンサルタンツ協会と共催
平成30年度	平成30年8月30日	平成30年度総会	H30 事業計画,H30 予算
	11月8日	発表会参加	農地保全研究部会第39回研究集会 2編
	12月3日 ～令和元年6月14日	第2、3、4回会議	
	12月13日	発表会参加	第12回防災環境シンポジウム 2編
	令和元年5月10日	現場視察	長寿命化 WG
令和元年度	8月27日	令和元年度総会	R1 事業計画,R1 予算
	12月12日	発表会参加	第13回防災環境シンポジウム 1編
	令和元年12月20日 ～令和2年6月16日	第2、3、4回会議	

研究会の活動

会議状況



定例会議、WG会議の定期的な開催による研究内容の討論、当会活動の検討

講師を招聘しての技術の研鑽



アンカー工の点検・調査方法に関する講習会

現地視察会



現地視察会での事例による知識の向上。(大宜味村)



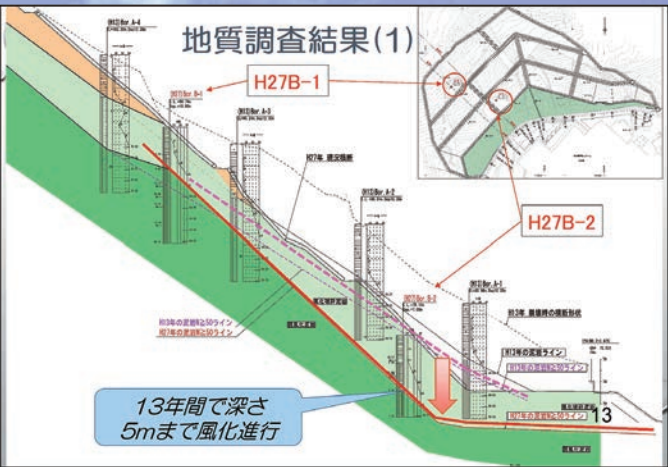
「斜面对策工維持管理実施要領の解説」講習会 質疑討論の状況

研究グループの活動

長寿命化WG

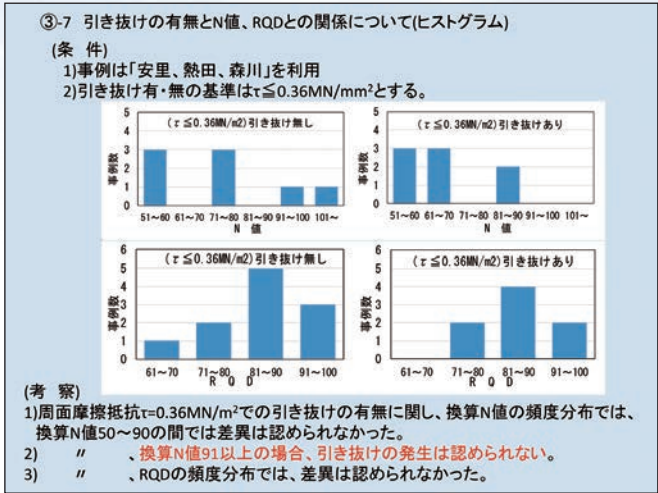


対策施設の老朽化状況の確認

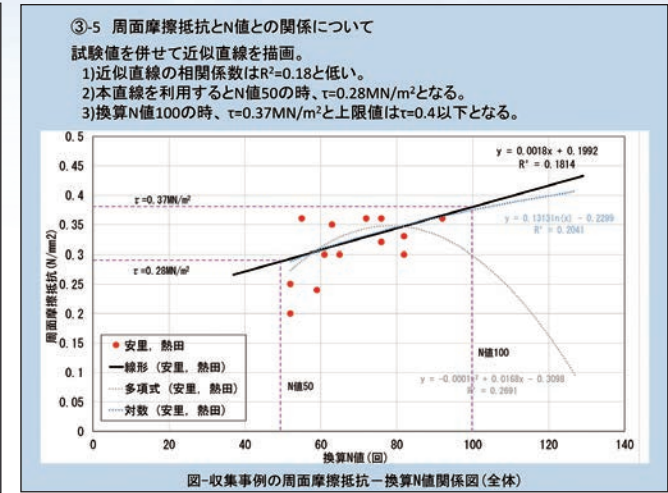


島尻層群泥岩切土地の風化劣化の研究
第13回防災環境シンポジウム(R1)での発表

周面摩擦抵抗WG



N 値、RQD 値と基本試験時引拔けの有無との関係性の研究、換算 N 値 91 以上の地盤では $\tau \geq 0.36 \text{ N/mm}^2$ でも引き抜けない



事例を収集しての、島尻層群泥岩ではN値と周面摩擦抵抗 τ が比例関係にないことの検証
第13回防災環境シンポジウム(R1)での発表

発表論文

- (平成30年度)農地保全研究部会第39回研究集会 発表2編
開催日時：平成30年11月8日
開催場所：沖縄県立博物館
「島尻泥岩の周面摩擦抵抗力に関する既往事例からの考察」
「島尻層泥岩切土のり面の維持管理方法・対策に関する検討」
- (平成30年度)第12回防災環境シンポジウム 発表2編
開催日時：平成30年12月13日
開催場所：琉球大学研究者交流施設・50周年記念館
「島尻泥岩の周面摩擦抵抗力に関する既往事例からの考察」
「島尻層泥岩切土のり面の維持管理方法・対策に関する検討」
- (令和元年度)第13回防災環境シンポジウム 発表1編
開催日時：令和元年12月12日
開催場所：琉球大学研究者交流施設・50周年記念館
「島尻層泥岩切土のり面の維持管理方法・対策に関する検討」



第12回防災環境シンポジウム



第13回防災環境シンポジウム